

進捗状況評価の結果のとりまとめについて

1 人口・世帯の目標、まちづくり指標について

(1) 人口・世帯の目標

令和 5 年度の目標人口を 40,000 人、世帯目標を 15,900 世帯と掲げていることから、現時点での数値を推移とともに示します。

(2) まちづくり指標

まちづくりの基本となる「住みよさ指標」、「定住指標」、「市政満足度指標」の 3 つを掲げていることから、その目標に対する現時点での率を示します。

2 施策評価について

(1) 「施策評価」の位置付けと役割

「施策評価」は、政策・取組ごとに前年度の指標目標（成果）や事業内容等ができる限り客観的に評価（チェック）し、今後の方向性などを展望（業務改善）し、総合計画における事業全体の推進を図り、多様化する市民ニーズに対応できる個性あるまちづくりを目指して実施するものです。

(2) 「施策評価」の対象と手法

施策評価は、基本方針別評価と施策別進捗状況評価の 2 段階で実施します。

1) 基本方針別評価

基本方針別評価は、定量的評価と定性的評価により行います。

① 定量的評価

指標の達成度から算出する定量的な評価は、下記のステップで実施します。

ステップ 1 施策別評価

「指標の達成度評価」から、施策ごとに指標の達成度評価点を集計、**施策別平均点**を算出します。

ステップ 2 基本方針別指標評価

「施策別評価」から、基本方針ごとに施策の評価点を集計、**基本方針別に平均点**を算出します。

② 定性的評価

後述する施策別進捗状況評価をもとに、計画期間中にあげられた成果と、引き続き対応すべき継続課題を文章で整理します。

2) 施策別進捗状況評価

施策別進捗状況評価は、指標の達成度評価と、総合計画で位置づけた主な事業の進捗状況評価からなります。





① 指標の達成度評価

各施策の指標それぞれについて、基準値から令和 5 年度の目標値までの伸びに対する、基準値から最新値までの伸びの割合（目標値までの進捗率）を算出し、下記の 4 段階で評価しています。

『目標値までの進捗率』の算出方法例





基準値 10%、令和 5 年度目標値 60%、最新値 55%の場合

⇒ $(55-10) \div (60-10) = 45 \div 50 = 90\%$ ⇒ 「順調」

区分		評価基準	評価点
	達成	目標値までの進捗率 100%以上	100
	順調	目標値までの進捗率 70%~100%未満	80
	一部順調でない	目標値までの進捗率 50%~70%未満	60
	あまり順調でない	目標値までの進捗率 50%未満または悪化	30

② 主な事業の進捗状況評価

後期基本計画で位置づけた主な事業について、「達成、順調、着手、未着手」の 4 段階で評価します。また、進捗状況について、文章で整理します。

区分		評価基準
	達成	目標とした事業内容達成
	順調	事業を進めており、目標の 70%以上は進んでいる
	着手	目標の 50~70%程度の水準にとどまっている
	未着手	目標の 50%未満または事業に着手できていない

上記①、②のいずれも計画期間 10 年のうち、8 年分の進捗状況評価であることから「順調」の判断にあたり進捗率 80%を基準に数値を設定しています。

(イメージ)

3 基本方針別評価

(1) 全体まとめ

全体で見ると、6つの基本方針のうち、「基本方針〇 〇〇・・・」が最も進捗が順調で・・・という結果となりました。

基本方針別にみると、「基本方針〇」では、構成する〇つの施策のうち、全て〇点以上と高い評価となっており、今後も継続して施策をより一層、強化していく必要があります。

「基本方針〇」では、構成する〇つの施策のうち、「〇〇」において「〇点」と最も低くなっており、事業の効果が懸念されます。

・
・

第7次瑞浪市総合計画の策定に向けては、このような評価結果となった要因を分析した上で、継続して取組みを進めていく事業や改善すべき事業を検討します。

基本方針	評価点
基本方針〇 〇〇・・・	84 点
基本方針〇 〇〇・・・	70 点
基本方針〇 〇〇・・・	75 点

(2) 基本方針別結果

基本方針〇

〇〇・・・・・・・・

		施策評価
		84
施策		施策達成度評価
〇〇・・・・		80
〇〇・・・・		77
〇〇・・・・		90
〇〇・・・・		90
〇〇・・・・		84

【これまでの成果】

- ◎ 〇〇を奨励し、サービスの適正利用を推進できた。
- ◎ 〇〇相談や〇〇相談を開催し、対象者の不安解消などが図られた。
- ◎ 〇〇助成により、〇〇に対する生活の安定が図られた。

【積み残し（継続）課題】

- ▼ 〇〇に対する女性や若手の参加ができていない。
- ▼ 地域全体で支える仕組みづくりを構築できていない。
- ▼ 〇〇については、内容が具体化されていない。
- ▼ 〇〇が新規に発生しつつあり、今後の動向が懸念される。

3 施策別進捗状況評価

基本方針〇

施策〇

1. 評価指標の達成度

[😊 達成 😊 順調 😐 一部順調でない 😞 あまり順調でない]

指標名	単立	基準	H25 年度	...	R2 年度	R3 年度	目標 (R5)	評価
〇〇	数	17	16	...	19	21	23	😐
〇〇		H24	↘	...	↗	↗		
〇〇	%	95.4	95.60	...	95.77	96.45	96.00	😊
〇〇		H24	↗	...	↗	↗		
〇〇	%	67.6	67.8	...	68.3	70.7	71.6	😊
〇〇		H24	↗	...	↘	↗		
							平均点	80

2. 主な事業の進捗状況

事業名	進捗状況				進捗状況等の説明	担当課
	未着手	着手	順調	達成		
〇〇事業	🚶	🚶	🚶	🚶	〇〇を通じ、世代間交流や各種団体との交流を促進しました。	〇〇課
〇〇事業	🚶	🚶	🚶	🚶	〇〇を行っており、〇〇からの理解を得ています。	〇〇課
〇〇事業	🚶	🚶	🚶	🚶	〇〇と連携し、〇〇のPR活動を行いました。	〇〇課